

金子長崎県知事視察

南島原市の現在に注目

1月22日(月)、金子長崎県知事が南島原市を訪れ、市内16カ所の現場や施設の現状を視察しました。

今回の視察は、合併して新たな自治体となった市の現状を把握し、今後の県の施策・方針へ役立てようといわれたもので、金子知事は直接現場へ入り、地元関係者の人からの意見に耳を傾けました。

また松島市長は、全ての現場に随行しながら知事に対して現状や課題を説明し、各事業において、県としての協力体制の強化を要請しました。

午前9時ごろから深江町に入り、加津佐町方面へ1日かけて各所を視察しました。

視察行程

深江町

4 深江町漁協 クルマエビ養殖



●平成元年から漁協自営で実施。その後、平成16年度に養殖場拡大。平成17年度には種苗110万尾を放流し、約18トンの水揚げ実績。

深江町

3 島原・深江土地改良区



●雲仙普賢岳災害からの被災復旧・復興事業として平成6年から実施。平成17年度には農業農村整備優良地区として、農林水産大臣賞受賞。
※主要作物
メロン、スイカ、アスパラガス、菊、洋ラン、桃、葉タバコ

深江町

2 肥育牛舎



●柴田博文代表の、肥育牛舎、発酵処理施設、たい肥舎など、家畜排せつ物の適正管理などによる循環型農業の先駆けとして視察。

深江町

1 水無川(赤松谷)流域における治山対策



●治山ダムの進捗状況(平成17年度までに14基施工)
●植生の回復(ヘリコプターによる航空緑化工を実施)
●山林火災の現状を視察(平成18年11月8日～10日火災:約20ヘクタール焼失)

布津町

5 布津東部畑総事業



●狭小不整形な区画で農道網も未整備であったため、畑地帯総合整備事業を実施。
※主要作物
葉タバコ、ハクサイ

布津町

6 キャセイ食品(株) 長崎工場



●地元で採れた野菜を中心に冷凍食品の開発製造を行っている。平成17～18年度の長崎県地域産業連携ビジネスモデル事業を実施。

有家町

7 堂崎港廃棄物埋立護岸工事



●雲仙普賢岳の土石流に伴う廃土砂の受け入れ先として整備。受け入れ容量は150万立方メートルで、現在3万3千立方メートル受け入れ済。

有家町

8 (有)雲仙きのこ本舗



●きのこ生産販売や「養々麺(ようようめん)」のテレビや雑誌などを活用した販路拡大状況を視察。

有家町

9 (資)吉田屋



●普賢岳伏流水の自家井戸水を仕込み水に使い、昔ながらの製法に新しい酵母の研究を加え、酒造りに挑む。九州で2蔵しかない「はねぎ搾り」製法の伝統を守り続けている。

有家町

10 JA島原雲仙手延素麺加工場



●地場産小麦を100%使用した、そうめんの開発を行っている。
※生産能力は1日800ケース(1ケース9キログラム)

北有家町

16 エコ・パーク論所原



●需要の減少した牧野を、農業体験や資源循環の環境学習の場に活用。キャンプ場整備による自然とのふれあいの場にもなっている。

加津佐町

15 権田地区治山対策



●亀裂が生じた団結度の低い地質は、豪雨などにより国道へ流出する恐れがあるとした災害視察。平成17～19年度において、のり面工事を施工。

口之津町

14 口之津観光船企業組合



●バンドウイルカの生息地という地域の資源を生かし、体験レジャーを事業化。

口之津町

13 長崎有機農業研究会



●いち早く環境に配慮した農業生産に取り組み、県内における環境保全型農業のモデル集団となっている。

南有家町

12 島原雲仙農協大雲仙いちご部会



●部会員全員が※エコファーマーの認定を受け、減農薬・減化学肥料栽培に取り組んでいる。
※「土づくり・減化学肥料・減化学農薬」に取り組む農業者

西有家町

11 須川港防波堤災害復旧工事



●昨年9月17日に来襲した台風13号の被害状況を視察。被災延長は200メートルで、被災額は15億円。